

上：木島櫻谷
《菊花図》部分
大正6年(1917)
下：木島櫻谷
《燕子花図》部分
大正6年(1917)
ともに
公益財団法人
泉屋博古館蔵

京都画壇とともに



2021

9 / 11 sat. | 10 / 24 sun.

同時開催「中国青銅器の時代」泉屋ビエンナーレ2021

休館日 月曜日(9月20日は開館)、9月21日(火)

開館時間 午前10時〜午後5時 入館は午後4時30分まで

入館料 一般800円、高大生600円、中学生以下無料

・本展覧会の入場料で青銅器館もご覧いただけます。・20名以上は団体割引20%。障がい者手帳ご提示の方は無料

主催 公益財団法人泉屋博古館、京都新聞

後援 京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局

木島 櫻谷

このしま 桜谷

KONOSHIMA

四季の

Golden Folding Screens of
Four Seasons

金屏風

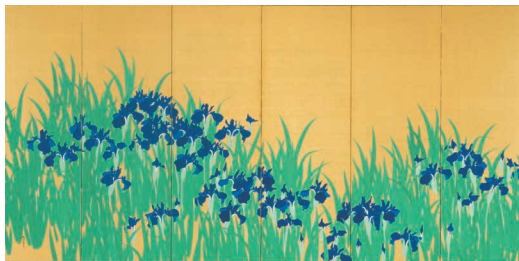
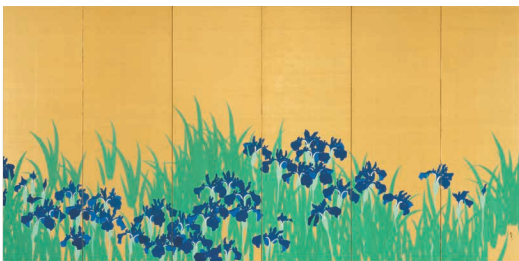
住友コレクション
泉屋博古館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM



木島櫻谷(柳桜図)
大正6年(1917)



木島櫻谷(燕子花図)
大正6年(1917)

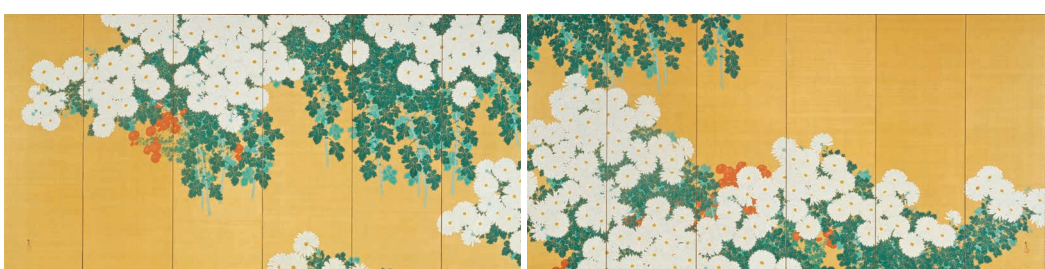


光ふりそそぐ 四季の庭へ

四季の庭へ

くらしやもてなしの空間における屏風の美。
京町家に育った櫻谷の
もうひとつの本領。

木島櫻谷(菊花図)
大正6年(1917)



所蔵はすべて
公益財団法人泉屋博物館

木島櫻谷(雪中梅花)
大正7年(1918)



みなぎる深山の冷氣
写生の大切さを
櫻谷に説いた師
今尾兼年(深山瀑布図)
明治時代



「写生画」で京都画壇の
近代を拓いた画家。
右下・向山応挙(双鯉図)
江戸・天明2年(1782)
リスの可憐さ、ブドウ葉の
関連な描写に注目
左下・木島櫻谷(葡萄葉図)
大正時代
(令和3年度寄贈品)

会期中の催し

すべて入館料のみで参加いただけます。予約制
受付 8月25日水 10時(先着順)
開始 ホームページ・電話 075・771・6411

スペシャル・トーク

「京の暮らしと屏風の美」
10月9日(土) 18時~19時30分

杉本歌子氏(奈良屋記念杉本家保存会 学芸部長)

屏風に囲まれた展示室で、京町家の暮らしと屏風の
楽しみについてうかがいながら、屏風の新たな魅力を
見つけましょう。閉館後にじっくり鑑賞するひとときです。

オウコク・トーク!

展示品を中心にスライドで解説します。
各回14時~15時

- 1 「京のまちが育てた櫻谷―その交流と美意識―」
9月18日(土) 実方葉子(泉屋博物館学芸部長)
- 2 「京都日本画のオウコク」
9月28日(火) 野地耕一郎(泉屋博物館東京館長)
- 3 「素材と技法から読み解く櫻谷の屏風」
10月13日(水) 実方葉子(泉屋博物館学芸部長)

「同時開催」青銅器館「中国青銅器の時代」
「泉屋ヒエンナレ2021 Re-sonation ひびきと聲」
スライド列品解説
9月19日(日) 14時~15時
山本亮(泉屋博物館学芸員)

会場 当館講堂
定員 40名
予約優先

「割引情報」

京都東山美術館さんぽ
本展の半券提示で、左記展覧会の
一般入館料800円が700円になります。

野村美術館

「深まりゆく秋―初秋・晩秋の取り合せ―」
〔前期〕9月11日(土)~10月24日(日)
〔後期〕10月26日(火)~12月5日(日)
詳しくは館内または各館ホームページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症予防・拡散防止のため、
予定を変更・中止する場合がございます。
当館のホームページ、Facebook、Twitter等、
最新の情報をご確認ください。

住友コレクション
泉屋博物館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL 075-771-6411
https://www.sen-oku.or.jp/kyoto

